

印旛沼では台風10号接近に備えて予備排水を実施しました。

印旛沼を管理する水資源機構では、印旛沼流域での降雨予測に基づき、8月6日午前9時から予備排水[※]を実施しました。

印旛沼流域では台風接近に伴って8月7日～9日の間で計104.2mmの降雨がありましたが、この予備排水（約690万トン）を実施したことにより、印旛沼の最高水位を2.82m（沼平均水位）に抑え、約0.5mに相当する水位低下を図りました。

予備排水は今年度に入って2回目の実施となります。その運用については、令和元年10月の豪雨災害などを踏まえ、関係者による「印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議」にて合意されたルールに基づいて実施しています。

※予備排水

洪水が発生するおそれがある場合に、予め水門や機場を操作して排水を行い、事前に印旛沼の水位を下げる操作

令和3年8月10日



独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所

発表記者クラブ

千葉県政記者会

水資源記者クラブ

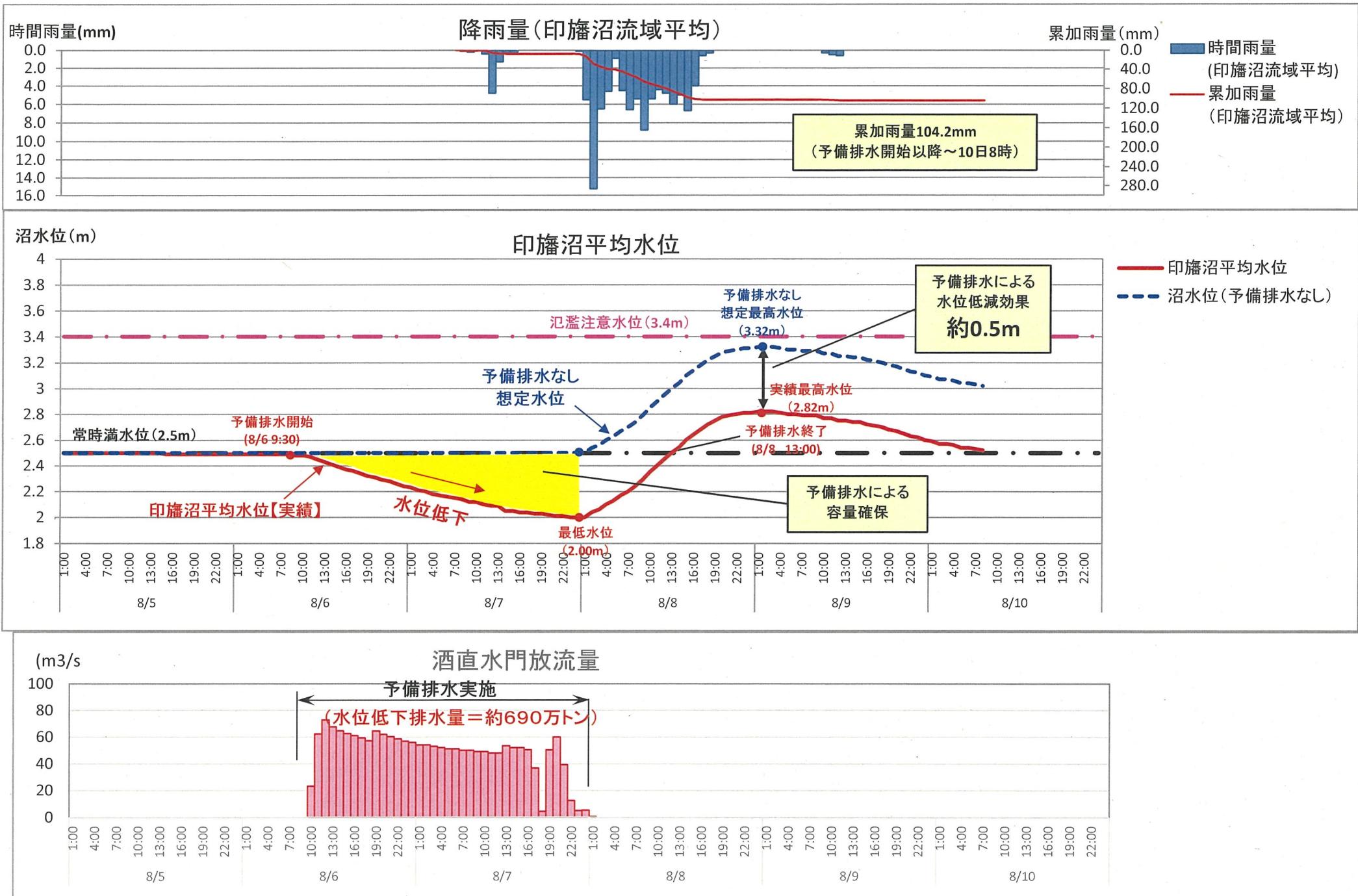
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 総務課長 小田
管理課長 海野

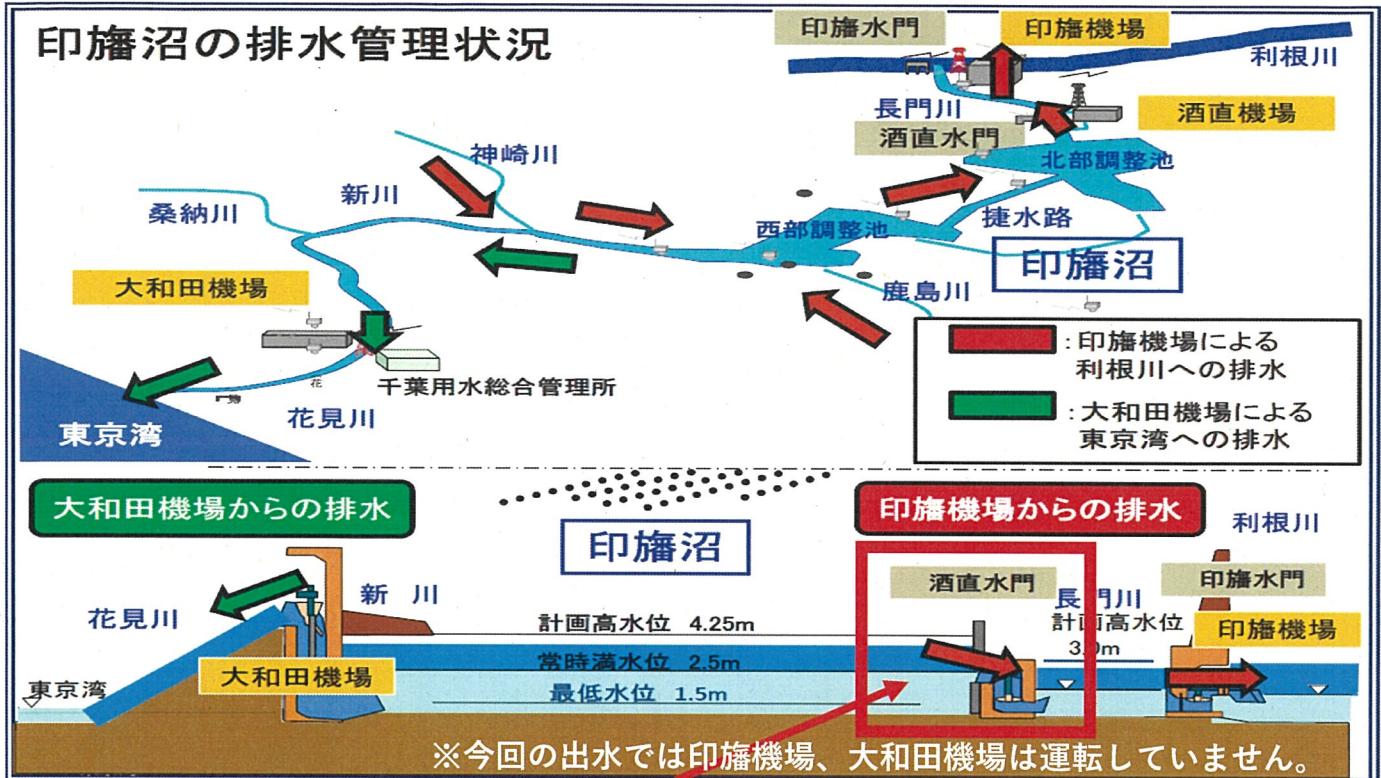
住 所：千葉県八千代市村上3139

電 話：047（483）0722

印旛沼排水実績図【令和3年8月5日～8月10日(台風10号)】



印旛沼の排水管理状況

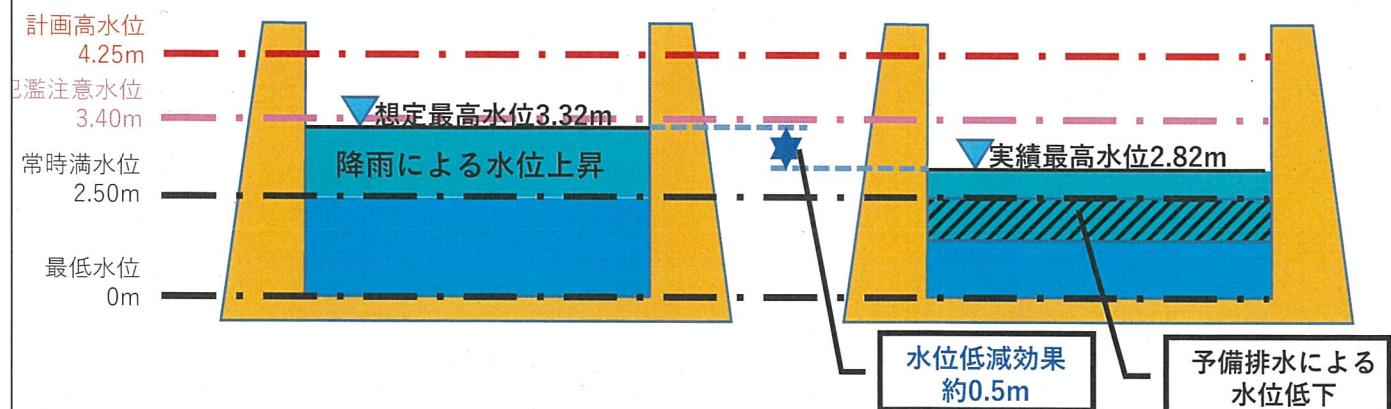


酒直水門での洪水排水状況
(8/8 12時頃 洪水吐3門排水・約60m³/s)



予備排水未実施の場合
(想定)

予備排水実施
(実績)



予備排水を実施していないければ氾濫注意水位近くまで沼の水位が上昇していたと考えられます。

・予備排水の運用

<予備排水>

印旛沼では、洪水が発生するおそれがある場合には、予め水門や機場を操作し、排水を行って、事前に水位を下げることとしています。

<運用ルール>

基 準 降 雨 量：流域の予測総雨量 100mm 超

低下目標水位：Y.P.+2.5(2.3)m → Y.P.+2.0m ()書き 非かんがい期の水位

※なお、予備排水開始後に予測総雨量が 150mm を超えない場合は、低下目標水位を Y.P.+2.1m とします。

・印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議

平成 25 年の台風被害を受けて、流域の浸水被害軽減対策等について検討及び調整するため、利水者、治水者、関係市町等で構成される調整会議が発足しました。

(事務局：千葉県国土整備部河川環境課・(独) 水資源機構千葉用水総合管理所、

第 1 回：平成 25 年 12 月 25 日に開催)

(印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議構成メンバー)

印旛沼土地改良区、印旛都市広域市町村圏事務組合、長門川水道企業団、JFE スチール(株)、印旛沼漁業協同組合、千葉市、成田市、佐倉市、八千代市、印西市、酒々井町、栄町、農林水産省関東農政局、(独) 水資源機構、千葉県企業局水道部・工業用水部、千葉県関係課(総合企画部水政課、農林水産部耕地課、県土整備部河川整備課・河川環境課)、千葉県農林水産部出先機関(印旛農業事務所)、千葉県県土整備部出先機関(千葉土木事務所、印旛土木事務所、成田土木事務所)

(印旛沼の水位と水の流れ)

